



わたしじつは消防吏員



好きな言葉は万里一空 そして共通の考え

東京都
東京消防庁
荒木 麻佑

自然に囲まれた街 青梅市

東京消防庁といえば、都会で高層建物の中での消防活動と想像されがちですが、私が配属された青梅消防署は、秩父多摩甲斐国立公園の玄関口に位置し、多摩川や御岳山、高水三山といった、豊かな自然に囲まれた地域です。市の面積は103.26 km²もあり、東京都では（島の地域除く）4番目の広さです。地域の特性から、林野火災や山岳救助、川での急流救助といった都心では経験ができないような災害出場もあり、幅広く活動しています。



青梅市は東京都に居ながら大自然に囲まれた生活ができる素敵な街



出場時はいつも緊張！緊急走行だけど安全を配慮しながら運転！

女性でも積極的に災害現場へ出場！

私は平成23年度に入庁し、今年で6年目となります。消防学校を卒業してから青梅消防署に配属され、ポンプ隊員として火災現場を含む災害現場や救急現場で経験を積み、指揮隊車の伝令として大隊長や現場指揮本部の補佐として災害現場での活動を経て、現在は指揮隊車の機関員（運転手）として災害現場へ出場し、現場や総合指令室（指令管制センター）との無線の交信を主な任務として活動しています。



表彰式にて（本人一番左）1人体調不良で欠けていますが後日打ち上げで4人集合しました。

消防を目指すきっかけとなったライフセービング

ライフセービングとは社会への奉仕と人命を尊重し、日常において事故を未然に防ぎ、総合的に安全思想を普及するものであり、私はその活動に大学1年生の時に出会いました。夏には海での監視活動を行い、それが終わると海やプールでの選手権があります。大学3年の時に、千葉県御宿海岸で行われた全日本学生選手権においてビーチフラッグスという種目で優勝し、オーストラリアで行われたライフセービングの国際大会に日本代表として出場しました。消防に入ってからプールの競技にチャレンジする機会があり、去年の全日本プール選手権大会でSERCという4人1チームで90秒間の中でどれだけ人命救助ができるかを競う種目において、東京消防庁のチームとして優勝することが出来ました。将来の仕事として消防を選ぶきっかけとなったライフセービングに出会えたことに感謝しています。



後日の打ち上げにて